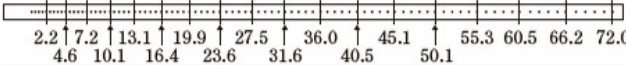
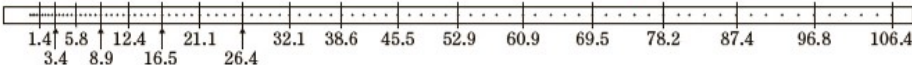
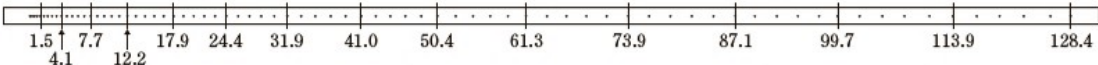
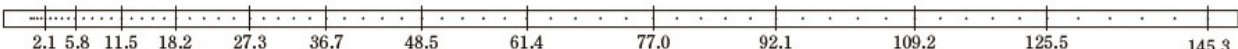


番号	訂正箇所		原	文	訂	正	文
	ページ	行					
1	36	18	図 2	力の合成のしかた 2 力が一直線上にある場合は、単純に足したり引いたりすればよい。 $\vec{F}_1$ $\vec{F}_2$ $\vec{F}_1 + \vec{F}_2$ 合力 $\vec{F}$ $\vec{F}_1$ $\vec{F}_2$ $\vec{F}_1 - \vec{F}_2$ 合力 $\vec{F}$ 同じ向きときは 2力の大きさの和 逆向きときは 2力の大きさの差 ▲図 2 一直線上にある 2 力の合成 2 力が一直線上にない場合は、力の矢印の始点をそろえて平行四辺形を描くと、その対角線が合力になる。	力の合成のしかた 2 力が一直線上にある場合は、2 力の大きさの和や差が合力の大きさになる。 $\vec{F}_1 = 5\text{ N}$ $\vec{F}_2 = 3\text{ N}$ $\vec{F} = \vec{F}_1 + \vec{F}_2$ $= 5\text{ N} + 3\text{ N}$ $= 8\text{ N}$ $\vec{F}_1 = 5\text{ N}$ $\vec{F}_2 = -3\text{ N}$ $\vec{F} = \vec{F}_1 + \vec{F}_2$ $= 5\text{ N} - 3\text{ N}$ $= 2\text{ N}$ 2力の大きさの和 2力の大きさの差 ▲図 2 一直線上にある 2 力の合成 ※図の力は右向きを正とした場合である。 2 力が一直線上にない場合は、力の矢印の始点をそろえて平行四辺形を描くと、その対角線が合力になる。		

番号	訂正箇所		原文
	ページ	行	
2	46	図 1	0.2 N 2.2 7.2 13.1 19.9 27.5 36.0 45.1 55.3 60.5 66.2 72.0 4.6 10.1 16.4 23.6 31.6 40.5 50.1 0.5 N 1.4 5.8 12.4 21.1 32.1 38.6 45.5 52.9 60.9 69.5 78.2 87.4 96.8 106.4 3.4 8.9 16.5 26.4 1.0 N 1.5 7.7 17.9 24.4 31.9 41.0 50.4 61.3 73.9 87.1 99.7 113.9 128.4 4.1 12.2 1.5 N 2.1 5.8 11.5 18.2 27.3 36.7 48.5 61.4 77.0 92.1 109.2 125.5 145.3 ▲ 図 1 台車を一定の力で引き続けたときの記録テープ (記録タイマーは 50 Hz)

番号	訂正箇所		訂正文
	ページ	行	
2			0.2 N  0.5 N  1.0 N  1.5 N  ▲ 図 1 台車を一定の力で引き続けたときの記録テープ (記録タイマーは 50 Hz)

番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文
	ページ	行		
3	113	4	媒質の x 軸方向の変位を	媒質の x 軸 ^{じく} 方向の変位を
	113	10	縦波の x 軸 ^{じく} 方向の変位を	縦波の x 軸 じく 方向の変位を
4	113	10	問 3 右図は、 <u>縦波の</u>	問 3 右図は、 <u>x 軸の正の向きに進む縦波の</u>

番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文
	ページ	行		
5	147	14	<u> </u>により、<u>磁石</u>から受ける力を変化させて^{しんどう}振動させる装置である。	<u> </u>により、<u>磁場</u>から受ける力を変化させて^{しんどう}振動させる装置である。
6	191	右段 37	問題 3 (1) $\frac{F}{4m}$ (2) $\frac{F}{4m} - \mu'g$ $\left(\frac{F - 4\mu'g}{4m} \right)$	問題 3 (1) $\frac{F}{4m}$ (2) $\frac{F}{4m} - \mu'g$ $\left(\frac{F - 4\mu' \underline{mg}}{4m} \right)$
7	193	右段 13	$R = \frac{2\text{ V}}{0.08 \underline{\text{V}}} = 25\ \Omega$	$R = \frac{2\text{ V}}{0.08 \underline{\text{A}}} = 25\ \Omega$